

妙法寺だより

令和元年冬号





◆日 時

1月11日（土曜日）

午後1時より 初題目会

2時より 大祈禱会 福を招く余興

終了次第 車祈禱（裏山墓地駐車場において）

◆御祈禱料

特別祈禱 15,000円（大きな御札）
一般祈禱 3,000円
車両守札 3,000円

（同申込者は2台目以降、一台につき2,000円）

◆申込方法

▼同封されております「新年大祈禱会申込書」にご記入の上、**返信用封筒**をご利用頂きご返信ください。

▼御祈禱料は「御志納袋」に封入してお納めください。
お名前のご記入をお忘れなく！

▼祈禱札の郵送をご希望される方は、その旨を申込書にお書き添えください。後日お送り致します。

▼**どなたでもお申込・ご参拝を受付けております。**

午後一時 初題目会

御題目で心の垢を洗い流す

午後1時からの初題目会は、年頭に際し皆様と共に御題目修行を行う法会です。

私達は日頃、なにげなく他人の心を傷つけてしまったり、恨み嫉みを抱き、正しい心を失ってしまうものです。それによつて心の垢あかといえる「罪障ざいしょう」が知らぬ間に溜まってしまいます。その積もり積もった罪障を、心の底からお題目を唱え、修行することによつて祓はらう法会です。皆様もご祈禱を受けるだけではなく、自らが御題目の修行を行い、心の罪障をキレイに洗い流し、心身共に新たな一年をスタートさせましょう。



午後二時 新年大祈禱会

当山の行事で最大十三名の僧侶が大迫力の祈禱で一年の安泰を祈る



午後2時からの新年大祈禱会では、日蓮宗の大荒行堂だいあらぎやうどうで修行された修法師しゆほうしを多数お迎えし、日蓮宗古来より伝わる、加持祈禱かじきとうを行います。おひとりおひとりに法華経の経典をおあてし、一年間の安泰をご祈願致します。車両祈禱は新年大祈禱会終了後、裏山墓地駐車場にて執り行います。お申込の皆様はお車の横でお待ちください。



祈禱内容一覧

家内安全…家族が円満に過ごせますように	身体健全…健康で過ごせますように	交通安全…交通の災難に遭いませんように	當病平癒…病が治りますように	商売繁盛…商売が繁盛しますように	事業繁栄…事業が栄え成功しますように	社運隆昌…会社が栄えますように	学徳増進…勉強ができますように	合格成就…志望校に合格できますように	発育増進…お子様が元気に育ちますように	心願成就…心に秘めた願いが叶いますように	除厄開運…厄を除き幸運に恵まれますように	夫婦円満…夫婦が仲良く過ごせますように	安樂産福子…元気な子供が産まれますように	寿命長遠…元気に長生きできますように
---------------------	------------------	---------------------	----------------	------------------	--------------------	-----------------	-----------------	--------------------	---------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	--------------------

(厄年に当たられている方の厄除け祈願)



自転車やランドセルにも

サイズが小さくシンブルな形になり、車のデザインを邪魔せず、自転車など様々な所に貼れるようになりました。

「交通安全ステッカー」のデザインが一新

女性

数え19歳	前厄	平成15年生
	本厄	平成14年生
	後厄	平成13年生
数え33歳	前厄	平成元年生
	本厄	昭和63年生
	後厄	昭和62年生
数え37歳	前厄	昭和60年生
	本厄	昭和59年生
	後厄	昭和58年生
数え61歳	前厄	昭和36年生
	本厄	昭和35年生
	後厄	昭和34年生

厄年 男性

数え25歳	前厄	平成9年生
	本厄	平成8年生
	後厄	平成7年生
数え42歳	前厄	昭和55年生
	本厄	昭和54年生
	後厄	昭和53年生
数え61歳	前厄	昭和36年生
	本厄	昭和35年生
	後厄	昭和34年生

※申込書には、記号でご記入ください。
※具体的なご祈願をご希望される方は、「祈願内容」の欄にお書きください。内容を考慮しご祈願致します。

豊来家大治郎

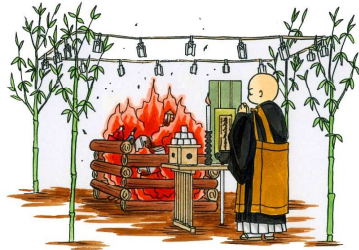
御祈祷会終了後には、一昨
年のお会式で素晴らしい曲芸
を披露してくださいました、
豊来家大治朗さんが、新年に
ふさわしい縁起物の曲芸をご
披露してくださいます。



お知らせ

古い御札 正月飾り お焚き上げ

去年の古い御札、正月飾りのお焚き上げ
供養は、受付に専用箱を準備致しました
ので、そちらにお入れください。燃えな
いものは、お焚き上げできないため、ご
遠慮頂るか、外してお持ちください。



来年の暦を同封致しました。
是非ご活用ください。

◆ 1月11日の行事には、**お盆やお彼岸と同様に墓参用のお花の用意を致します。**年頭に際しお墓参りをされ、一年の安泰をご先祖様をお願い申し上げます。ご意義の深いことと考えております。ご利用ください。

1 束 750円
1 対 1,500円 (お線香付) (数に限りがございます)



一 体
1000円

◆ お台所にお祀り致します「普賢三荒神」様の御札は、
12月1日より30日迄、寺務所でご用意しております。

除夜之鐘

大晦日

午後11時～ 歳末報恩会 本堂

午後11時半～ 除夜の鐘点打初め

午前0時～ 新年祝祷会 本堂

※ 受付は12時30分に終了致します。

※ 例年混雑致しますので、お早めにお越しください。



冷えた身体は
温かい甘酒で温めて



除夜の鐘はご家族や仲間と一緒に
まずは合掌して1年間の無事に感謝



招き猫が来年の
運勢を導き出します

お楽しみください



南北朝時代より伝わる勝負の神様
開運の神様「毘沙門天王」を特別奉安

妙法寺の大晦日を



妙法寺特製の
チャリティ豚汁



京都のお坊さんになったつもりで、
今年を表す一文字、来年に願う一文字を



浄煙のご利益を頂き
合掌

妙法寺の御守

「新しい御守ができるまでのヒストリー」

3年前、妙法寺の御守を全面リニューアルしました。それは、ある出来事がきっかけでした。今回はそのきっかけとなったお話、そして私が御守に込める思いをお話し致します。

御守を買いに来た見知らぬ女性

数年前のことです。お寺の電話が鳴り、「そちらのお寺に御守は置いてありますか？」という問い合せがきました。「ありますよ」と答えると、電話は切れ、数時間後に一人の女性が慌てた様子でお寺にやってきました。ご事情を伺うと、お母さんがご病気で急に容態が悪化したため、明日、急遽大きな手術を受けることになり、お母さんの手術が無事に成功するように病室に御守を届けたいということでした。彼女は、手当たり次第にホームページがあるお寺や神社に電話して、御守を売っている所を探し、妙法寺に辿り着いたそうです。御守をお渡しすると、彼女はその御守を合掌して、祈っている手の中におさめ、しばらくの間本堂の前で祈りを捧げていらつしやいました。小走りで妙法寺を後にした彼女は、その御守を



お母さんのもとに届けたことでしょう。

「祈るころ」「が形になった御守」

お母さんがその後どうなったかは分かりませんが、彼女の姿を垣間見たとき、その御守を受け取ったお母さんは、祈りが込められたその御守によって、生死を分ける大きな手術に心強くなるのぞむことができたのではないのでしょうか。そんなお母さんの気持ちを想像してしまいました。

神仏への祈る心は目には見えませんが、祈る心は「御守」という目に見える形で送ることができます。「御守」は、神仏の功德と、大事な人を思いやる心が融合する素晴らしいものであると、彼女から教えていただきました。このことがきっかけとなり、ゼロから妙法寺の御守づくりをはじめようことを決意しました。

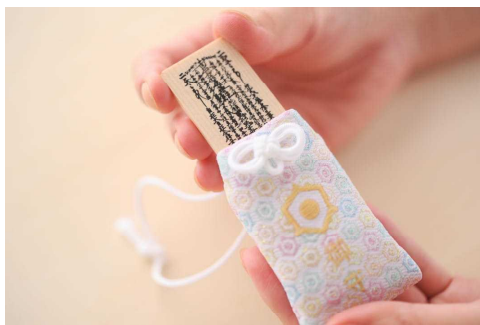


ゼロからはじめた御守づくり

これまでは既製品の御守を発注し、お経を上げるだけでした。しかし、御守づくりを決意してからは、御守の歴史・形態・祈祷法などを学び直し、デザイナーの三牧けいこさんにも加わっていただき、何度も何度も打合せを繰り返し、試行錯誤を重ねました。オリジナルで御守の袋を織ってくれるという石川県の

この御守は本来、中に納まっているご本尊の分身である「内符」という木札が別になっています。その木札の裏面にご自身で「お名前・願い事・贈る相手へのメッセージ」などを書き入れ、ご自身で御守袋へ封じ入れるという、今までにはなかった形の御守です。お母さんの手術の成功を願って御守を買って行かれた彼女の身になった時、きつとお母さんへの思いを書き入れたかったのではないのでしょうか。

「神仏の功德」と「祈るこころ」を、また贈る人の思いが形となるよう、このような新しい形にしました。



業者さんには、サンプルづくりのために何度も足を運び、「内符」という木札を作ってくれる御札業者さんとも何度も打合せを繰り返しました。これまでは、昔ながらの色である、紺・赤白の色しかありませんでしたが、現代人のカバンにつけても合うように、また家族で好きな色を選べるようにと、カラーバリエーションも豊富に取りそろえました。今年は新色も発売する予定です。

神仏の功德と祈るこころが響き合う御守

妙法寺に祀られる御守護神の御守

そして、もう一つの大きな特徴として、妙法寺に祀られている御守護神様の功德を頂いた御守もつくりました。

●鎌倉時代に103歳まで生きられたと伝えられる、妙法寺開山の日昭聖人の功德を頂き祈願した「長寿守」。

●南北朝時代より伝えられ、勝負の神様、開運の神様として信仰を集める毘沙門天の功德を頂き祈願した「勝守」。

●江戸時代より伝えられ、七福神の一神として財徳・福徳の神様である大黒天の功德を頂き祈願した「金守」。

●多くの種を持つ石榴がトレードマークで、500人の子どもがいたと伝えられる女性の神様、鬼子母神の功德を頂き、子宝・安産を祈願した「子宝守」

●日蓮宗の大荒行堂で伝授を受け、病氣平癒の特別な経文を施し、病氣平癒・医療成就を祈願した「癒守」



妙法寺の新しい御守は、私の様々な思いと時間をかけて完成しました。
新年にあたり、ご自身だけの祈りに止まらず、ご家族や大事な人、不安や辛さを抱えている人に、「祈るこころ」を形にして贈ってみてはいかがでしょう。受け取った人は、神仏の功德と人の温かさを感じ、喜びや生きる力を得ることができるのではないのでしょうか。

12月22日(日)
浄心道場のご案内

お正月飾りのワークショップ



第1部：供養会 3時～3時45分

皆様と共にお経を読み「先祖供養」と「修法祈願」を行います。

先祖供養は一供養、ご祈願は一祈願につき各500円です。

第2部：法話会 4時～5時 お正月飾りのワークショップ

年末年始に向け、ベルフラワー緑園都市店さんのご指導のもと、お正月飾りのワークショップを開催いたします。

お正月飾りを手作りして、お正月気分を盛り上げましょう！

完成したお飾りは、本堂にお供えし来年の招福祈願を行います。

※材料費は一人様2,000円となります。

※定員40名（定員になり次第〆切）

※材料準備の都合上、事前にお電話にてお申込みください。

（電話：045-811-0256）



店長の渡邊幸司さん

令和二年はどんな年？

令和2年は「七赤金星・庚・子」の年

◇七赤金星…一部不足・喜び・金銭・経済

◇庚…「更」という字に通じ、植物の生長が止まって新

たな形に変化しようとする状態(終わり・改める)

◇子…種子の中に新しい生命が兆し始める状態(始まり・増える)

り・増える)

十干の庚は「陽の金」。十二支の子は「陽の水」。五行では相性が良く「相生」と言います。相生は「相性」の語源とも言われ、相手を強める良い組み合わせになります。七赤金星はお金や精錬された金属、季節は実りの秋を表します。令和二年はオリンピックなどで大きなお金が動き、その後どのように進むかで、日本の経済が大きく変化するような重要な年になるかと思えます。

60年前の「庚子」の年を調べてみますと高度経済成長の核となる、国民所得倍増計画を策定した池田内閣が誕生しています。この計画は、池田内閣が誕生した翌年から10年間に、実質国民所得を倍増させることを目標に掲げ、その後、日本経済は大きく成長に至りました。安全面では日米安保条約が改定され、新安保条約が締結されています。これを基に考えると、「子」は十二支の最初であり、出発のようなイメージがあるのですが、新たに何かを始めるのではなく、「七赤」の一部不足と「庚」の改める意味が表すように、これまでの足りない部分を補いつつ、継続の意味が強そうです。令和2年の前半はオリンピックを楽しみ、その後は、今後の発展のために進むべき道を長期に計画するのが良いでしょう。長期計画には勇気も必



客殿の入口に、おみ足が悪い方のために、手すり付の下足台をご奉納くださいました。



ご奉納に謹んで感謝申し上げます、
ご報告申し上げます。

客殿入口の下足台 奉納 金子幸一様



日蓮聖人のお書きになられた、御真蹟をお掛けする「掛け軸スタンド」3台を3名の方がご奉納くださいました。

掛け軸スタンド(3台) 奉納
杉山喜弘様 杉山福範様 金子守様

御奉納

要です。その過程には先が見えず、成功するか否か迷いや不安が出てくるでしょうが、勇気をもって一歩踏み出す事が重要です。

令和二年 年回忌表

一周忌

平成三十一年（令和元年）

三回忌

平成三十年

七回忌

平成二十六年

十三回忌

平成二十年

十七回忌

平成十六年

二十三回忌

平成十年

二十七回忌

平成六年

三十三回忌

昭和六十三年

三十七回忌

昭和五十九年

四十三回忌

昭和五十三年

四十七回忌

昭和四十九年

五十回忌

昭和四十六年

百回忌

大正十年

年回忌のお知らせを同封致します

- ・親父の次の年回忌いつですか？
- ・第十三回忌って十三年目？
- ・うっかりして、お爺ちゃんの年回忌法要を

忘れってしまったのですが…



このような年回忌についてのお問合せを多く頂きます。そのため毎年12月号の便りの中に、**来年、年回忌に該当される方に「年回忌のお知らせ」を同封致しております。ご確認ください。**過去帳のデータを進める事によって管理できるようになったものです。データの入力には十分に気をつけておりますが、希に古い字などで誤植がある場合がございます。その際には、何卒ご容赦頂き、お手数乍らお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

※ご法要の申込は、ホームページからでも行えます。

※ご法要は御命日より前に行うのが、良いとされています。

※お申込はお早めをお願い致します。

